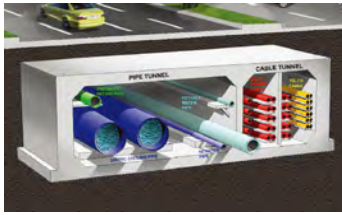


HIGHLIGHTS

TOP50 エンジニアリングプロジェクトに選出されました。



Marina Bay 共同溝の断面図・洞道内写真
出典) シンガポール再開発庁 HP より



Marina Bay 共同溝のルート図
出典) シンガポール再開発庁 HP より



共同設計者らと記念撮影



Marina Bay 共同溝のルート図
出典) シンガポール再開発庁 HP より

シンガポール建国 50 周年を記念してシンガポール技術者協会 (IES) が主催した TOP50 エンジニアリングプロジェクトに弊社が AECOM と共に URA(シンガポール都市再開発庁) より受託した Marina Bay 共同溝プロジェクト (担当技術者 : 田中尚人, 波佐場浩一) が選出されました。

1996 年から現在に至るまで、NSC では Marina Bay 地域における共同溝整備プロジェクトを、計画段階から実施設計まで、現地の事務所と共同で行っています。プロジェクトの第 1 期部分が 2006 年に供用開始となり、この地域での開発が本格化し始めました。

現在、この地域では、中心市街地に新たな超高層ビル群が加わる新都市開発と、都市の大動脈となる共同溝の延伸工事が同時並行で進んでいます。本プロジェクトでは、都市開発の計画段階から関係者との協議を重ねることにより、合理的かつ戦略的な共同溝の延伸を行うことが可能となりました。

近年、世界各地でこのような高密度集中型の都市開発が進められようとしています。新しい都市開発では、維持管理、エネルギー効率、環境、そして、都市景観が重視されており、共同溝という集約型のインフラ設備も欠かせない存在となっています。



田中 尚人
Naoto Tanaka



波佐場 浩一
Kouichi Hasaba